

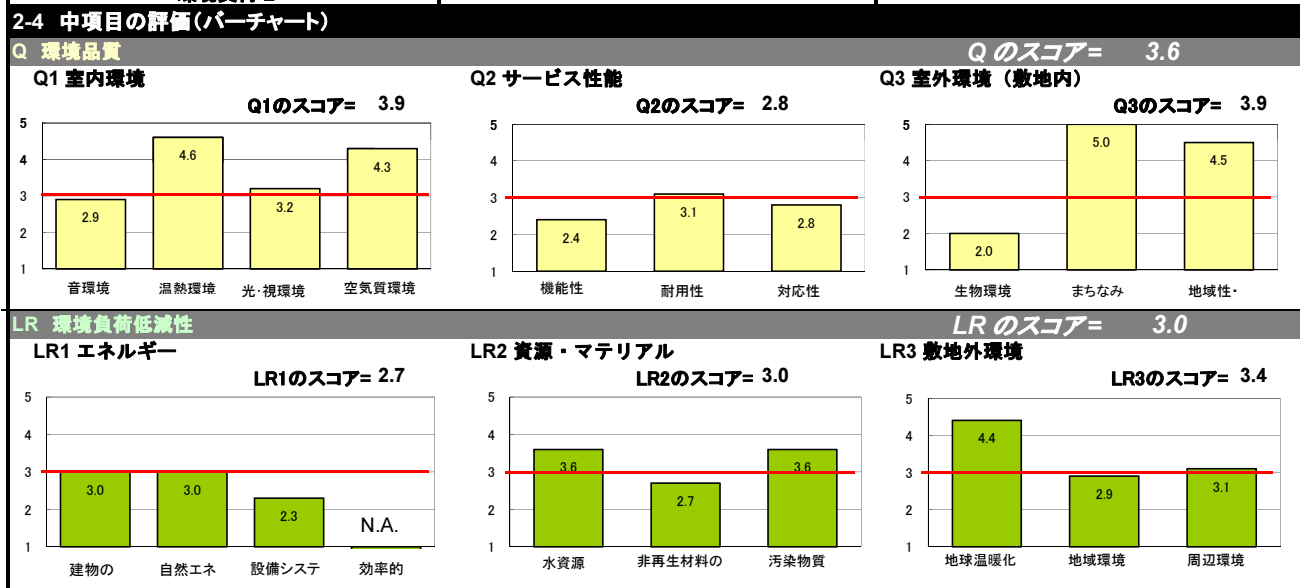
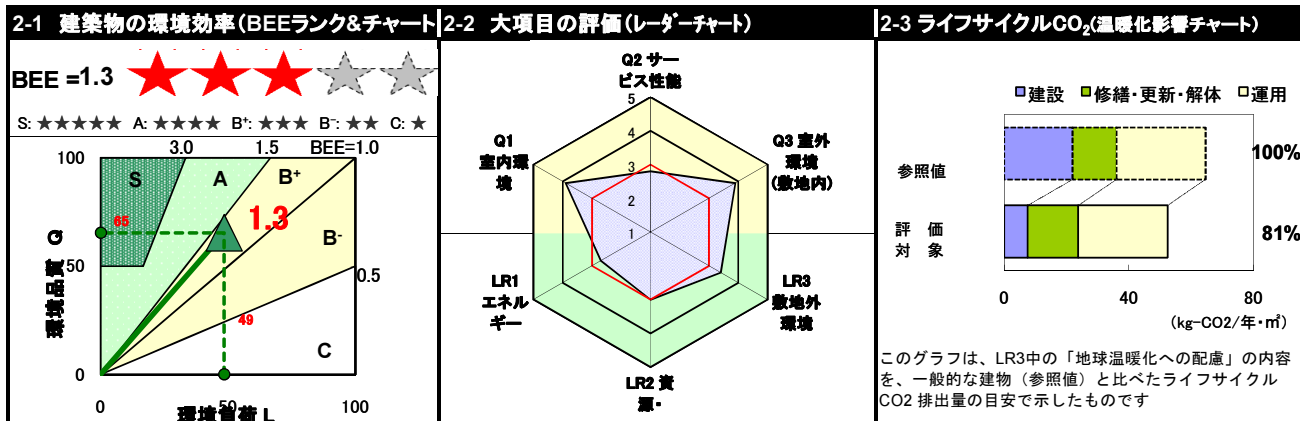
CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都市崇仁市管住宅	階数	地上7F
建設地	京都市下京区	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	80人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年4月 予定	評価の実施日	2009年4月14日
敷地面積	1,277㎡	作成者	株式会社前田都市設計
建築面積	505㎡	確認日	
延床面積	2,252㎡	確認者	〇〇〇

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項

総合	その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
だれもが安全で安心して暮らすことができ、住み続けられる住まいづくりを目指すとともに、日常潤いと彩りを感じる緑地や周辺住民などが、集い、語らえる空間を確保し、地域コミュニティの活性を図る計画としている。	
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
公営住宅等整備基準で定められた住宅性能評価を満たす	だれもが安全で快適に利用できるように段差を解消し、
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
雨水貯留槽を設け、散水などに利用できライフサイクルコストの縮減及び省エネを図る。	透水性舗装の使用によりヒートアイランド現象を抑制し、環境へ配慮した計画としている。また、再生クラッ
	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
	透水性舗装の使用によりヒートアイランド現象を抑制し、
	住戸数に応じた駐輪台数の確保と利便性や安全性に配慮した動線計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される